

様式第 5 号（第 5 条関係）（用紙 日本産業規格 A 4 縦型）

水源保全地域内開発行為に係る健全な水循環の保全措置計画書

開発行為を行おうとする土地の区域		土地の所在 (地 番)	伊東市川奈字ナカミヨ1311番13	地 目	山林	面 積	400㎡
工事中又は 工事後の別	工種	環境要素	影響予測		影響に対する対策		
工事中・ 工事後	伐採工	④、⑦、⑧	伐採により水源涵養機能が低下するため、地下水の減少、豪雨時の土砂流出量の増大、植生等の変化が生じる可能性がある。		砂利敷きを行い、降雨による土砂流出の緩和及び低減を行う。 また、周囲に影響を与えうる場合は、影響を与えないよう随時対応する。		

- (注) 1 環境要素の欄は、次の中から該当する項目を選択し、記載してください。
①地下水の水質の汚濁、②地表水の水質の汚濁、③地盤沈下、④地下水の変化、⑤河川流量の変化、⑥海況の変化、⑦土壌・土砂の流出・堆積、⑧生態系の変化、⑨景観の変化、⑩住民生活の変化、⑪水に関する文化の変化、⑫その他（具体的な要素を記載すること。）
2 影響予測の欄は、開発行為により予測される影響を具体的に記載してください。